

令和4年5月19日

瀬戸内市議会議長
廣田 均 様

瀬戸内市議会議員 竹原 幹
瀬戸内市議会議員 日下 俊子



政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和4年5月12日 ～ 令和4年5月13日
研修会名	全国地方議会サミット2022
開催場所	早稲田大学大隈講堂
研修目的・ 内容	<p>基調講演『チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治』 12日パネルディスカッション『議会と住民の関係について』 13日講演『いまこそ問われる！ 地方自治と議会の役割』</p> <p>「議会改革においては、新型コロナウイルス感染症により議会機能が停止する例があり、緊急時の議会の存在意義が問われる状況が生まれ、オンラインなどデジタル技術の拡充が求められている状況となった。オンラインの活用は、議場に参集できない場合でも議会機能の維持が可能となるばかりではなく、多様な人材による議会活動も可能となるツールでもある。以上のことから、全国地方議会サミット2022参加者一同として以下を宣言し、行動する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 地方議員選挙でのローカル・マニフェストや証紙ビラの進化を図る。2. オンラインによる常任委員会開催へ向け、条例改正を全国の地方議会へ広げる。3. オンラインによる本会議開催に向け、法整備を進めるよう国へ働きかける。」 <p>という決議文が採択されました。</p>
所 感	<p>オンライン議会については、もちろんだうにもならない非常時には必要であると考えます。が、通常時にも選択する必要があるかどうかは、今後しっかり議論が必要であると感じています。</p> <p>北川先生の、地方が自立して自己決定をすることが大事！中央政府のいいなりではいけないという言葉に、共鳴しました。</p> <p>地方から政治を変える、善政競争をし、徹底的にパクリ（TTP）は、ぜひマネしたいと思います。</p> <p>また、定数を削減する・歳費を削減するという量的削減ではなく、質的削減が必要という言葉には、瀬戸内市議会においても言えることではないかと考えました。</p> <p>二日間内容の濃い研修を受けることが出来ました。ぜひ、今後少しでも生かしていきたいと考えています。</p>

